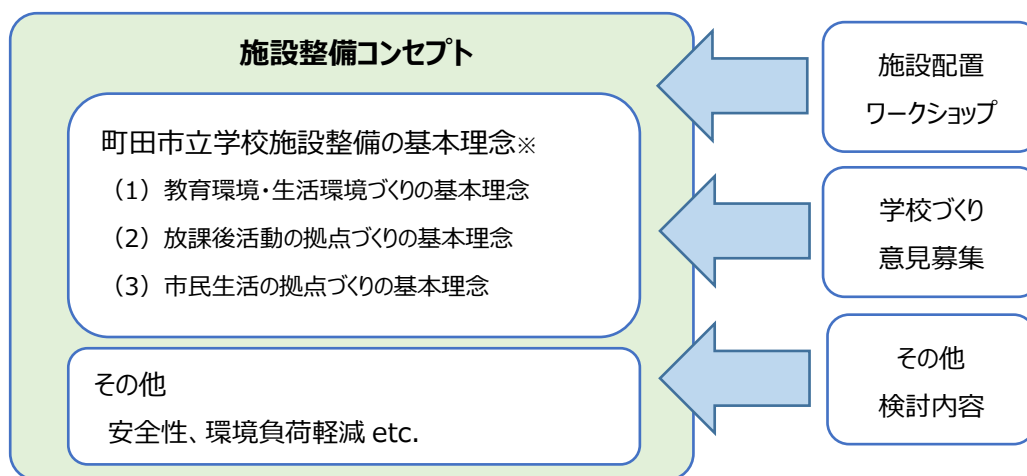


鶴川東地区新たな学校の施設整備コンセプト（案）について

鶴川東地区の新たな学校の建設に向けて、基本計画検討会で検討した内容を踏まえて施設整備コンセプトを作成し、2023年度以降の設計・建設を進めていきます。

1 施設整備コンセプトの作成について

施設整備コンセプトは、「町田市立学校 施設機能別整備方針」に掲げる、町田市立学校施設整備の基本理念とその他安全性や環境負荷軽減などについて、学校候補地の条件及び地域性や統合対象校の特色を踏まえて検討し、まとめるものです。これまでの基本計画検討会で実施した鶴川東地区新たな学校の施設配置に関するワークショップにおいて皆様からいただいたご意見と、学校づくり意見募集でいただいたご意見をまとめ、これを基に、資料4-2のとおり、施設整備コンセプトを作成します。



(参考1)：町田市立学校施設整備の基本理念（抜粋）

(1) 教育環境・生活環境づくりの基本理念

学校は、社会において思考力・判断力・表現力や、社会性・人間関係を形成する力を育む場の中で児童・生徒にとって最も重要な場であることから、安心して学校生活を送ることができる環境を基盤として、協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションを促進することができる環境を整備します。

また、多様な学習形態に対応することができる環境や、主体的に体を動かしたくなる環境を整備します。

(2) 放課後活動の拠点づくりの基本理念

放課後における児童・生徒の居場所の一つとして、安心して様々な活動をするができる環境を整備します。

(3) 市民生活の拠点づくりの基本理念

地域と学校が連携・協働するためのスペースの確保や、学校施設のさらなる地域開放、他の公共施設等との複合化によって、多様な人々が学校につどい、教育活動・放課後活動などを通じた連携・協働や、スポーツ・生涯学習、地域活動その他の市民活動を通じて、市民が交流し活動する愛着ある地域拠点となるような環境を整備します。

そして、新たな学校づくりにおいて学校施設機能を集約して整備する場合（例：学校給食の給食センター）においても、愛着ある地域拠点施設とするための多機能化や複合化を検討します。

また、地域の防災拠点として災害時の対応を円滑に行うことができる環境を整備します。

(参考2) 学校建設スケジュール

対象	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
学校建設スケジュール		基本計画	新校舎設計	仮設工事	新校舎建設工事・仮設校舎使用				新校舎使用・仮設校舎撤去